

S & I BANGKOK NEWSLETTER NO.75

2000.11.25

発行責任者 井口 雅文

発行 S & I International Bangkok Office

TEL +66-2-261-6449、6466

FAX/TEL +66-2-261-6419、6379

Address : Oriflame Asoke Tower 23<sup>rd</sup> Floor, 253 Sukhumvit Soi 21 (Soi Asoke)

Bangkok 10110, Thailand

E-Mail : [iguchi@mx1.nisiq.net](mailto:iguchi@mx1.nisiq.net)

(注 : mx1 の「 1 」は数字です。)

[iguchi@loxinfo.co.th](mailto:iguchi@loxinfo.co.th)

S&IWebsite: <http://www.s-i-asia.com>

CopyRight (C) S & I International Bangkok Office Co., Ltd.

社内用・社外用を問わず無断複製(電子的複製を含む)を禁ずる

~ 事務所より ~

( 12 月、1 月のタイ祝祭日及び弊所休暇のお知らせ )

12 月 5 日、11 日及び 1 月 1 日が祝祭日です。また弊所の年未年始休暇を 12 月 28 日から 1 月 3 日と致しますので、宜しくお願い致します。もし、提出期限が休暇期間の場合は、できるだけ早目にお知らせ下さい。弊所ファックス及びメールは通常通りですので、急用の折はご利用下さい。

( ホームページ更新のお知らせ )

弊社ホームページを 11 月 25 日付けで更新しました。今回は、ニュース ( 英語版及び日本語版 ) <http://www.s-i-asia.com/news-JPN.htm>、裁判関係データ、出願関係統計データ <http://www.s-i-asia.com/statis.htm>、WTO Trips の関連法案審議状況チャート <http://www.s-i-asia.com/pcact.htm>、を更新しました。ご高覧ください。また、特許法、商標法等の法律訳文につき英訳を用意しました。ご活用下さい。新たにマレーシア及びベトナム出願統計を掲載しました。サーチエンジンは Infoseek 及び Goo, Lycos, excite, フレッシュアイ, yahoo です。日本語検索エンジンへのホームページ登録を行うためにミラーサイトを <http://www.geocities.co.jp/WallStreet-Bull/7026/index.html> に開設致しております。次回更新

は 12 月 25 日に予定しています。

( 弊所事務所移転について：再送 ) **新規委任状を作成される場合、ご注意ください。**

8 月 1 日付けで

Address : Oriflame Asoke Tower 17th Floor, 253 Sukhumvit Soi 21 (Soi Asoke)

Bangkok 10110, Thailand

から、下記住所に移転致します。同一ビルでの移動です。電話、ファックス番号に変更はありません。

Address : Oriflame Asoke Tower **23rd** Floor, 253 Sukhumvit Soi 21 (Soi Asoke)

Bangkok 10110, Thailand

~ 編集者より ~

11 月となり乾季となった。しかしながら、今年は異常気象なのか、ソンクラーン地方などの南部タイは大雨で洪水被害が出ている。NHK でも乾季明けのお祭りであるロイクラトンの灯籠流しが放映されていた。川辺に映る多数の灯籠は実に幻想的である。同朋社出版の「タイの事典」によると「タイで最も広く知られているバラモン儀礼には旧暦の新年を祝う「ソンクラーン」(水かけ祭り)、「ロイクラトン」(灯籠流し)がある」と書かれてあった。「水」にまつわる儀式が実に多い。

最近、バンコクに下院議員選挙運動のポスターが目立つようになってきた。現政権民主党チュアンリークパイ首相は、11 月 9 日に下院を解散し、下院総選挙を 2001 年 1 月 6 日に行うと発表した。テレビマスコミは最も今回の選挙で注目される人物シナワトラ氏にスポットを当てている。「Thai Rak Thai」<http://www.thairakthai.or.th> (タイ人はタイ国を愛するという意味)日本ではタイ愛国党と訳されるが、この党を率いているのがシナワトラ氏 (Thaksin Shinawatra) <http://www.thaksin.net/index.htm> である。当人は 1949 年チェンマイ生まれの 51 歳、米国留学後、シナワトラグループを率い、通信事業を一代で築いた人物である。タイ愛国党は IMF 路線を踏襲する現民主党政権を非難し、マハティール首相のようなリーダーシップを追及する。もし、首相になればアジア各国との外交関係も確実に変化していくと予測する。今回の選挙で恐らく首相になると巷では予測されているが、さて果たしてどうなるか。選挙もまた「水」物である。

11 月に入り、バンコクでは、知的財産関連のセミナーが目白押しの状態である。知的財産裁判所開設 3 周年記念セミナー、ドイツ援助の GTZ セミナー、地理的表示に関するセミナーなど、私企業主催の知的財産関連セミナーも 11 月末に開かれる。色々題目を見ていると、最近流行の電子商法やインターネット関連の知的財産についてが実に多い。また、セミナー参加

料金が年々上昇しているのが目に付く。裁判所主催のセミナーでさえも二日間一人 13000 バーツの参加費である。タイの大学卒新人の初任給が 13000 バーツであるから、なんと二日で一人分の月給が吹き飛ぶ勘定である。タイの知的財産の状態を知る者から見ると、現実とセミナー内容に余りにも問題意識の差があり過ぎると感じる。現実の目から見ると、不正商品の氾濫、審査の未熟さと遅延、事務所実務の質の低さ、データベースの質の悪さ、並べ挙げれば限が無い。どうして足元を見ようとししないのか。いささか壇上からご高説を述べられる先生方にケチをつけたくなる衝動が私にはある。

11 月 7 日からフィリピンの首都マニラを一年振りに訪問した。やはりこの地も着実に変化している。一年前に目立った無茶苦茶な渋滞も今は無い。経済成長が一段と進んだと感じた。丁度到着した日にはエストラダ大統領弾劾の集会在連日開かれている最中だったため、緊迫した空気が街中に漂っていた。フィリピン知的財産局に駐在している日本特許庁からの機械化援助チームと歓談させて戴いた。機械化援助の難しさ、相手政府との調整など外からは見えない苦労があると伺った。タイでも同様の経験を見聞きしたが、機械化援助は非常に効果が出難いし、相手国政府の上層部から見ると何をしているのか分かり難い。しかしながら、地道な援助を続けることが最大の効果が出るというのは言うまでも無い。4 年計画で進むこのプロジェクトも是非ともフィリピンの地に根付くことを期待したいものである。

～シンガポールの中小企業が BSA の動きに悲鳴を上げている～

BSA は戦術を脅迫戦術に切り替え、シンガポールの中小企業が悲鳴を上げ始めた。14 ページにのぼる質問状を中小企業に出し、回答しなければ法律違反のリスクを負わせるというもの。この質問状の中で、"To avoid breaking the law, complete and return the enclosed audit form by Nov.20, 2000"と書かれてある。シンガポールにある法律事務所の弁護士はシンガポール・ストリート・タイムズに「第一に関係する個人は刑事告訴されるということをほのめかしているようだ。しかし、これは適切ではない。私的個人が刑事告訴をするのではなく、警察が決めることだ。」「第二にこの語句により、企業に関する秘密事項を開示するようにしている点だ、これは会社の機密漏洩である」と語っている。他方、BSA シンガポール副代表 Huey Tan は反論している。「このメッセージは明確である。なぜなら、シンガポール法ではもし違法ソフトを使用しているならば、民事告訴は見とめられているからだ。」としている。しかしながら、中小企業のある社長は、「違法ソフトを使用することが犯罪であるという事に誰も異論はない。だが、この質問状に回答しないことが犯罪であるとしているのか。それが問題だ。」と語っている。(2000 年 10 月 28 日、シンガポール・ストリート・タイムズ)

～シンガポールで日本ペイントが ICI にパッシングオフの裁判で敗訴する～

1995年日本ペイントは多目的内装壁用ペイントで「3 in 1」を発表した。1年前にライバル企業 ICI ペイントは「Supreme 3 in 1」を発表。日本ペイントはパッシングオフで ICI を告訴した。損害賠償額は 96.7 万ドル (ICI 製品が昨年 10 月より導入され、市場占有率が 56.64% から 42.16% と低下したため、この損害額を推定したもの) となった。高等裁判所は 10 日間のヒアリングの後、日本ペイントに敗訴を言い渡した。Amarjeet Singh 裁判長によると、この「3 in 1」にはなんら発明性、新規性、独自性がなく、単に記述語句であるとした。単なる記述語句にはそれに付随する信頼性 goodwill は存在しないと、もし記述語句が長年使用されて顕著性を持ち二次的意義を持たなければ単なる記述語句であるとした。ICI の反論には日本ペイントは「Nippon 3 in 1」で配送販売されているので、「3 in 1」ではないとした。さらに ICI の缶は全く異なる色と外見があるため決して日本ペイントの「3 in 1」と大衆が混同することはないとした。この判決に対し日本ペイントは上訴するかもしれないとしている。(2000年11月1日、シガポ-ルストレイトタイムズ)

~ マレーシア政府は海賊版取締官に対しさらなる武器を持たせるかもしれない ~

マレーシア政府はソフト海賊行為の取り締まり官へさらなる銃火器を配布するように検討している。これは、最近海賊版 VCD の配布拠点で容疑者が取締官を人質とし、焼き殺すと脅した事件から端を発している。国内商業消費者省大臣 Tan Sri Muhyiddin Yassin によると、「不法配布者達は大きな損害の後に現在圧力がかかっている。我々はこの事件を検討し、担当役人に気をつけるように忠告している。」同省は現在の 722 名の取締官に加えて 1275 名の増員を要求している。ペナン島で起きた事件は、5 名の取締官と 2 名の記者が 15000 枚の VCD を発見した後、人質となり、配送センターに閉じ込められた。その後一人の従業員がもしボスを野川無ければ灯油を巻いて VCD に火をつけると脅した。人質は配送センターを摘発しないと約束したため解放された。この従業員、42歳は逮捕され裁判を待っている。(2000年10月20日、シガポ-ルストレイトタイムズ)

~ タイの発明者が排気ガス浄化装置で賞を得た ~

アジア地域の発明に対し Far Eastern Economic Review 主催のコンテストにタイ発明者が銀賞を受賞した。この発明はバイクの排気ガス浄化に関するもので、バイクを 20Kph まで電気で走らせ、その後にエンジンを駆動するというもので、Vichai Wattanapailin が考案したものの。Vichai 氏の考案は 100 万パーツ以下の費用で出来た。同氏はこの発明研究が終了したらバイク企業にこの考案を売ろうと思うと語っている。なお、金賞は外傷や病気で視力を落とした人達にバイオを利用して治療する方法を開発したインドと台湾の発明家に送られた。(2000年10月20日、バンコクポスト)

～ タイの安価なエイズ薬が南アフリカへ～

南アフリカのエイズを取り巻く政治は活動家に対しタイからの安い医薬を輸入し、法律に挑むようにさせているようである。Treatment Action Campaign は多国籍医薬品企業の特許を無視し、タイから Flucanazole の真正品である安い Biosole を輸入しようとするものである。Flucanazole はファイザーが南アフリカでライセンスを持ち販売されている。真正商品は 11 パーツで売られファイザーで製造されたものは 280 パーツである。Medicins Sans Frontieres の Paul Cawthone 氏はこの動きはエイズ薬の必要性について衆目を集めることを目的としている。医薬品企業は政府に対し安価な医薬を輸入しないように働きかけている。が、タイで Bio Pharma Chemicals と Siam Pharmaceutical Company が製造する Generic Biosole はタイでは広くしょうされ、多くの他のアジア諸国でも使われている。南アフリカでは 4200 万人の人口の 10% が HIV 感染者と言われている。(2000 年 10 月 22 日、バンコクポスト)

～ タイで政府が海賊版行為に警告状を発する～

海賊版ソフトを販売している有名なショッピングエリアのオペレーターはもっとテナントの行為に責任を持つべきであると知的財産局のウィーラウィット次長が語っている。店舗を貸しているオーナーは政府に協力すべきで、もし協力しなければ最高 3 ヶ月の懲役及びまたは 5 万パーツの罰金となるとしている。さらに強硬な取締りを政府によって行うことを計画しており、パンティププラザやマーボンクロンの店舗オーナーはテナントに対し盲目となっていると非難している。同氏によると、デパートはその土地のオーナーにテナントをもっと注意深く選別すべきであるとしている。今年 9 ヶ月間で 980 件の著作権違反摘発があり、140 万の海賊品が押収されており、この数は昨年から急増しているという。(2000 年 10 月 26 日、バンコクポスト)

～ タイで警察による取締りにも関わらず CD 海賊版は増加している～

昨年 11 月から今年 10 月までの 1 年間に 15 億パーツ異常の CD-ROM, VCD, 音楽 CD が摘発されたと知的財産局が発表した。ウィーラウィット次長によると、15 の海賊版製造工場が摘発され、普通家屋に改造されていたと語った。「海賊版製造は実にスムーズに行われ、広大な空間を必要としないため、工場として登録する必要もない。」さらに、知的財産局は全ての CD 製造、特に製造装置の輸入や原料輸入まで監視を要求する包括的法案を作成したと言い、この法案は商務省に提出し、内閣承認を待っていると語っている。海賊版事件は近年に比較し、今年は何倍増となっている。国家警察の Noppadol Somboonsap は、「海賊版犯罪者達は海賊版 CD を国中の市場に配送している。」と語り、その製造業者は警察、軍人、地方及び国家の政治家

を含んで強力な集団を形成している。「カメラやチップはギャングに摘発前に証拠を隠蔽し、かつ破壊する機会を与えている」(2000年11月6日、タイネーション)

～タイにて最高裁判所がマイクロソフトに対し敗訴を言い渡す～

タイ最高裁は著作権侵害事件で、米企業マイクロソフトに対し下級裁判所の判決を覆し、敗訴を言い渡した。地元のパソコンディーラーである ATEC コンピュータに無罪を言い渡した。この判決は10月16日に出されたもので、タイの著作権保護の前例となり、刑事裁判所で争われている2つの事件へも影響を及ぼすものと見られている。ATEC はマイクロソフトに対し裁判を起こすと脅している。マイクロソフトが知的財産裁判所に訴えたのは2年前、ウィンドウズのタイ語バージョンをマイクロソフトオフィス 95 を含むソフトを違法にハードドライブにローディングしたと主張した。即ち、ATEC ディーラーはソフトを新しい PC に購入者に対しライセンス合意書、マニュアル、ディスク、CD-ROM を供与せずにプレロードした。知的財産裁判所は違法であると判決した後、ATEC は上訴していた。

マイクロソフトはタイで最初の敗北となった。最高裁は ATEC の違法行為はマイクロソフトによって助長したものと判断した。マイクロソフトの一従業員はディーラーに対し ATEC に無断で、未ライセンスソフトを PC にロードしてもらうようにしていた事が判った。「ATEC はこの犯罪に何の責任もない。我々は海賊版行為を助長するポリシーはなく、そのディーラーを拒否した後も同様なポリシーである。」と語っている。「我々は PC を2種類に分けている。プレロードオペレーティングシステムを欲する顧客には Windows95 のライセンスバージョンを供与し、これには 2000 パーツから 3000 パーツの追加を顧客に請求している。しかしながら、プレロードオペレーティングシステムを欲しない顧客にはシステムテストするために未ライセンスソフトをロードしている。テストの後はソフトを削除するが、不法ソフトをインストールするかどうかは顧客の責任である。」と ATEC 担当者は語っている。(2000年11月7日、タイネーション)

～タイにてブランドを保護するよう要請、地理的表示保護の限界～

フランスはワイン名を特定の地域から保護している。タイシルクや香り米を同様なブランド保護するべきではないか。地理的表示に関するフランスータイのセミナーで問題提起がなされた。このような生産物は全て WTO/TRIPS で地理的表示の合意によって保護されるべきであるとタイ政府役人は語っている。知的財産局のウィーラウィット次長によると、タイは香り米(ホームマリ種)とタイシルクを次期ラウンドに含むように提案すると語っている。ホームマリは特定の地域名称ではなく、独自の性質を示しているだけだが。最新の科学技術は米国、オーストラリア、ナイジェリアにこのホームマリ種を栽培するようになってきている。これに対しフラ

ンス政府農水省 Gislaine Legendre 氏はウィーラウィット次長の見解に同意し、地理的表示保護の目的は農家所得を増やし消費者に生産物の品質を保証することを目的としていると語った。現在、フランスでは 450 のワイン及びスピリット、37 種のチーズが登録保護されている。タイでは法案が下院の第一回リーディングに入った段階である。(2000 年 11 月 15 日、バンコクポスト)

～ラオスにて輸入 CD、Video を規制する政策を実施～

Lao National Radio によると、ラオスの輸入 CD 及び Video の販売者は全ての輸入物を販売前に政府当局の調査に提出するよう政府が要請した。この新しい調査要求は文化省によって行われるもので、従わない場合には罰則が与えられるという。96 年にラオス政府は 2020 年までに先進国となることを約束したが、通貨キップの低迷と加えて、内陸国の人々に不満が渦巻いているといわれている。(2000 年 11 月 6 日、タイネーション)